



図書館だより

2022年6月号 NO. 391
北茨城市立図書館
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16
TEL 0293-42-1451



図書館はウクライナのために何ができるのか

絵本を何冊か手にとってみましょう。

『てぶくろ』 『わらのうし』 『おおきなかぶ』 『3びきのくま』 …。

図書館ではおなじみの絵本です。長い間、たくさん貸し出され、多くの子どもたちが親しんできたこの絵本たちは、ロシアとウクライナの民話です。

図書館の本棚に、仲良く並んでいますが、この本のおはなしの故郷、2つの国は、今 戦争をしています。テレビから毎日 爆撃の様子や、たくさんの方が亡くなったというニュースが流れます。この戦火の中でウクライナの図書館は一体どうなっているのでしょうか？インターネットで検索したところ、「侵攻下の図書館はシェルターとなり、サービスを提供するだけでなく、子どもに読み聞かせを続けるなど、子どもを安心させるプログラムを提供している。そして、将来の世代のために今回の戦時下について、記録をするなどの役割を果たしている」という記述がありました。現在の利用者だけでなく、未来の利用者に資料を残すという図書館の基本を、戦時下でも忠実にやっているウクライナの図書館の職員に敬意を払わずにられません。

ロシアのウクライナ侵攻に対して、世界の多くの国立図書館・文書館・博物館などが声明を出しました。日本では、3月14日に日本図書館協会が「ウクライナに関する日本図書館協会声明」を出し、全国の図書館へウクライナへの支援をよびかけています。戦争が一日も早く終わることを祈り、北茨城市立図書館もできることから始めたいと考えています。

by 館長

《 図書館カレンダー 》 = 休館日です。

★ 開館時間 : 午前9時30分~午後6時 ★

★ 2022年6月 ★ ★ 7月 ★



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

★ YABOOKご紹介 ★



『天山の巫女ソニン』シリーズ

菅野 雪虫 / 著 913.6 スガ Y 講談社

大陸から大きく張り出した半島があって、そこは3つの国に分かれていました。

北には、広大な草原と山林を有する〈巨山〉の国、南には、豊かな海の幸に恵まれた〈江南〉の国、そのあいだに挟まれるように、おだやかな気候の下、様々な農作物の実る〈沙維〉の国です。

主人公は、その〈沙維〉の国、巫女の住まう山「天山」で育てられたけれど、長年の修行のかいなく、才能なしと見限られ、里へ帰された「落ちこぼれ」の少女ソニン。

12年振りに会う家族や、天山とは180度ちがう村人としての生活に、戸惑いながらもすこしずつ慣れていくソニンですが、〈沙維〉の末王子イウォルと出会ったことで、想像もつかない大きな流れにのみこまれ、陰謀渦巻く王宮を舞台に、苦難と機知と勇気の物語がはじまります...

3つの国にはそれぞれ思惑があり、特色があります。海の国には海の文化、山の国には山の文化、それに伴う国民性のちがい、王族同士の政治的駆け引き、腹の探り合い。

良質なファンタジーがおしなべてそうであるように、文化的下地に沿った論理的な背景があって、国や立場に困った合理的思考が丁寧に描かれます。直面する未曾有の大災害や戦争や後継者争いに、一発逆転的解決方法なんてのはありません。

ソニンの活躍もさることながら、イウォル王子の素直さと目覚ましい成長、ソニンの親友ミンの知恵の確かさと健全な批判精神、さらに〈巨山〉の王女イェラの英知と冷徹な先見性、〈江南〉の王子クワンの洞察力と表と裏を使い分ける複雑な人間性も、果てしなく魅力的で、物語の深みに心からしびれます。

By ミカゲ



図書館員のひと一言

梅雨の季節になりました。この時期はジメジメ、気分も下がり気味で雨が嫌になります。梅の雨と

書いて「梅雨」なぜこのように書くのでしょうか。諸説あると思いますが、今回ご紹介する本の中では、ウメの実が実るこの時期に降る雨という意味で名付けられたとか。

ウメは、長雨でも、病気にならずしっかり実をならせることができます。

ウメの木がふる里はヒマラヤの南から東にかけての中国の山岳地帯や朝鮮半島、日本などの温帯モンスーン気候で雨が多い地域によく育ちます。ウメはバラ科の落葉小高木で昔からとても身近にあり、香りも良く花も美しくとても愛されてきた木です。種をまいて育てると、若い時には枝にトゲがあるそうです。みなさんはご存知でしたか？特に、幼木は害獣から身を守るために食べられては困るところに、トゲが出ているそうです。さすがバラ科ですね。私の実家にもウメの木がありますが、かなり古い木でトゲなど見たことがなかったので、勉強になりました。

さて、みなさんはウメの実があつたら、梅干し・梅酒・梅ジャム・梅ジュース。何を作りますか。作り方に困ったら、ぜひ図書館で本を読んでみましょう。

今回の本は、児童書「そだててあそぼうシリーズのウメの絵本」を読んでみました。

児童書ですがとても詳しく育て方が書かれています。全100巻のシリーズですので、育てたいくだものや野菜等の本が見つかるかも・・・。

by チッピー

★ 新着図書の中から、職員がお薦めの本を紹介しします。★



◇ 世界を変えた146人の子ども ◇

児童書 280ﾌﾞ ルーラ・フリッジポート 著 北川 玲 訳 / 創元 社

「世界を変えた146人の子ども」、タイトルを見ただけでワクワクしてきます。

さらりとページをめくると、そこには聞き覚えのない名前が並びちょっと拍子抜けした感じがしますが、読み入ると、若くして成功を収めたストーリーが簡潔にまとめられ、登場人物それぞれの子ども時代が身近に感じられるようになります。

きっと、この本を読み終えるころには、自分もがんばろうと思うことでしょう。
おすすめの一冊です。

by トマト



◇ ちいさな世界 せなけいこ詩画集 ◇

一般書 911.5セ せな けいこ / 詩・絵 ポプラ社

絵本作家のせなけいこさんは、大好きなお父さんの影響で、幼いころから俳句に親しんできました。お父さんは、幼いせなさんと一緒に山に登ると、「けいこ、一句詠んでみなさい」と、よく言っていたそうです。やがて、せなさんは、詩の創作をするようになりました。絵本作家として活躍するようになってからも、ちいさなノートを持ち歩き、詩を綴ってきました。

せなさんの「詩のノート」から生まれた、詩画集です。

by みーやん



◇ ライラックどおりのおひるごはん ◇

児童書 Eライ フェリシタ・サラ / 作 石津ちひろ / 訳 BL出版

ライラック通りの建物の前を通れば、いいにおいが…。それぞれのお部屋作られているのは、スペインの冷製トマトスープ「サルモレホ」やフランスの白身魚のムニエル、アメリカのピーナッツバター・チョコチップ・クッキーなどなど。

様々な国のお料理のレシピが紹介されています。とても美味しそうな料理ばかりで、どれも作ってみたいくなるはず♪さて、日本のお料理は何かな…？

by オレンジ

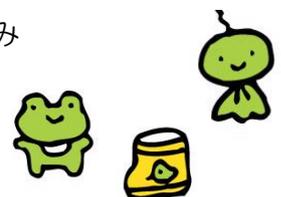
◇ わたあめ ◇

児童書 E7タ 近藤未奈 / 作 講談社

絵だけの絵本です。

かわいい主人公とパステルカラーの色で文字がない分考えや想像がふくらみやさしい気持ちになる絵本です。赤ちゃんにもおすすめです。

by どりみ



『おはなし会』のお知らせ

🌸 すべて参加自由・無料です。
場所は1階絵本コーナーです。 🌸

★ 図書館おはなし会 ★

6月1日(水)・8日(水)・15日(水)・22日(水)

午前10時～10時30分

★ エプロンひろ子さんのエプロンシアター ★

6月11日(土) 午前10時～10時30分

★ メリアンさんの英語のおはなし会 ★

6月25日(土) 午後2時～2時30分

★ ぽっぽのおはなし会 ★

6月29日(水) 午前10時～11時



「図書館バードウォッチング」のお知らせ

◆ 図書館バードウォッチング ◆

7月10日(日) 午前10時～11時30分

* 図書館前ウォーキングロードで行います。

(雨天の場合は中止となります。)

* お申込みは不要です。当日、図書館にお越しください。



6月企画展示紹介

☆1階企画展示テーマ☆

「I am a father」

6月19日は父の日!

色んなお父さんにまつわる本が大集合!!

どんな本に出会えるかは来てみてからの

お楽しみ☆



★2階企画展示テーマ★

「～梅雨～雨の日をどう過ごす?」

雨をテーマにした本から、

雨の日の過ごし方の本まで種類は

様々! お気に入りの「雨の日の過ごし方」

が見つかるかも・・・!?

